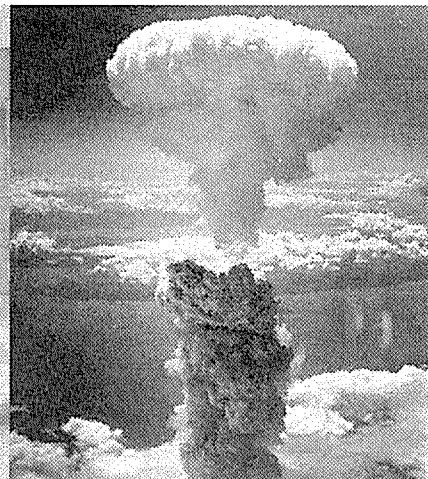
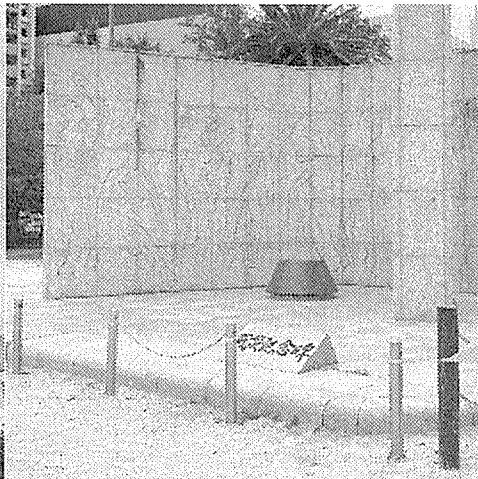


# 福岡市に平和資料館の設置を求める会 START集会



## 11・15

【と き】 11月15日(日) 午後2時

【と ころ】 **福岡市民会館小ホール**

【主 催】 福岡市に平和資料館の設置を求める会

共同代表：熊谷敦子(原水爆禁止福岡市協議会理事長)

末永節子(福岡女性団体交流会代表)

堀田広治(引揚げ港・博多を考える集い事務局)

福岡市は福岡大空襲の被害を受け、博多港は我が国最大の引揚げ港です。また広島、長崎両市に次いで被爆者が多い都市でもあります。

ところが、さまざまな団体が福岡市に設置を求め、署名や請願に取り組んできましたが、戦争や郷土の歴史を後世に受け継いでいく常設の資料館は、いまだつくられていません。

戦争体験者は高齢化し、その貴重な体験を次の世代に語り継いでいく時間はわずかとなってきた中、記憶を記録していく必要があります。

戦後75年を迎えた今年、これまで資料館設置運動や平和運動を担ってきた個人・団体が結集し、さらに大きな運動にすることで資料館の設置を実現させようという取り組みが始まりました。準備会で会議を重ね、フィールドワークなど学習も行い、いよいよ署名運動をスタートさせます。

ぜひご賛同いただき、スタート集会にご参加ください！

### 集会プログラム

- ◆ 貴子公民館作成・DVD「火の雨が降る」上映
- ◆ 講演「なぜ福岡市に平和資料館が必要なのか」  
堀田広治さん(引揚げ港・博多を考える集い)
- ◆ これまでの経過とこれからの運動の提案